

2023年4月10日

別紙●

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	なごみ
住 所	岡山県岡山市中区倉田264-13
電話番号	(068) 200-0753

事業所番号	3310102185
管理者名	大林 保之
対象年度	2022年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 AGRIブロードカントリー（株）
瀬戸内市牛窓町長浜6889-71
実施日程 2022年4月1日～2023年3月31日
活動内容 野菜の収穫及び付帯関連する作業
利用者数 等 利用者4名 職員1名で週6日

<目的>

稲作・露地・ハウス野菜を有機栽培・無農薬で行ない、薬品を使用しない除草管理を手作業で行ない、農業に対する知識・技術を身に付けていく前進をしてもらいたい。

幅広い栽培を行う事で応用力のある農作業を行い、忍耐力・集中力を養い一般就労に向けて意欲的な取り組みを目指す。

<実施した結果>

毎日の作業指示を就労先様からお伺いし、指導員が各利用者に作業内容を説明し、除草・耕耘・苗の育成から収穫等の一連した管理作業を行なう事ができている。

作業には真剣に取り組み、自主性を見る事ができている。

<得られた成果>

指示された作業には積極的に取り組み、新しい作業にも意欲的に行なう事ができている。

収穫では、野菜を傷めないように気をつけて行ない、新鮮な季節野菜をお客様のお手元にお届けできる喜びを実感する事ができている。

<課題点>

自主的に作業に取り組んでいるが、自らの向上を求める「より丁寧に・より早く」を求めていきたい。

<活動の様子>



連携先の企業等の意見または評価

無農薬野菜の栽培・準備・管理・収穫まで、作業いろいろ。草刈り、草取り、畑の土作りは、ですね、耕していただき、真面目作業して頂き。指導者に従って作業し、グループ内でコミュニケーションも取れていて、いろいろの仕事をやっていただけています。仕事は、されていて、指導員の方がいつもよく、助かっています。これから田舎(古有り)、暑くなるのを、理解せず働いてほしいです。

連携先企業名	公協産業株式会社 (AGRIブロードカントリー株式会社)	担当者名	尾田裕子
--------	---------------------------------	------	------

就労継続支援 A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	なごみ
住 所	岡山県岡山市中区倉田264-13
電話番号	(086) 200-0753

事業所番号	3310102185
管理者名	大林 保之
対象年度	2022年度

地域連携活動の概要	
<活動内容>	<活動の様子>
活動場所 藤クリーン（株）リサイクルセンター 岡山県岡山市南区藤田1664-8	▼(例1)産業廃棄物解体作業 
実施日程 2022年 4月 1日～2023年 3月31日	▼(例2)指導員に指導を受けながらの解体作業 
活動内容 産業廃棄物の解体・分別業務	▼(例3)プラスチック、紙(可燃物)、鉄にそれぞれ分別 
利用者数 等 利用者3名 職員1名で週3日	産業廃棄物解体/分別 完成
<目的> 施設外就労を通して、一般企業様で従業員の方々とコミュニケーションを図りながら一緒に作業をさせていただくことによって、利用者に地域連携活動の一端を担っていることを認識してもらう。また作業方法だけでなく、職場でのルールや仕事に取り組む姿勢なども学ばせていただく。 就労先様に活躍の場を提供していただき利用者が現場の一員として作業させていただくことで、企業理念である『環境価値創造企業』を目指した『3Rの推進と循環型社会の構築への貢献』の取り組みを感じ取り、就労意欲や自信を持ち人間的成长を目指す。	
<実施した結果> 指導員は就労先の現場担当者様からその日の作業等について説明を受け、その後各利用者に作業内容や注意事項等を伝え、処理作業(例1)を開始。 作業中は指導員が、利用者の処理状況や加えて健康状態等もチェックし適宜助言、指導、援助(例2)。正しく分別が行えているかを最終確認し、解体作業は完了(例3)。	
<得られた成果> ・多種多様な産業廃棄物の解体、分別処理を経験を重ねることで、利用者個々の処理能力が向上し、作業がスムーズになっている。 ・社会人としての仕事に対する姿勢なども少しずつ成長し、作業で成果を出すための心構えが身に付いて来ている。	
<課題点> ・作業において、さらに効率良くスピードに処理し数を上げて行く事。 ・社会人としてルールやマナーを施設外作業の中で身に着け、日常生活でも活かして行く事。	

弊社社員3名と共に週3日休みなく分解作業に従事もらっています。各自能力に個人差があるので能力に合った作業をしてもらっています。作業態度は真面目で以前に比べて作業効率が上がり早く分解が出来る様になっています。又分解した物の選別もほぼ出来る様になり分からない物は聞かてくれるので正しく選別出来ています。この様に弊社が目指しているリサイクル率を向上し環境にやさしい企業への一翼を担ってもらっています。			
連携先企業名 藤クリーン（株） 担当者名 田中重利			